

平成26年度 佐渡市体育部 活動報告

部長 野口 幸雄

1 研修の方針

「かかわり合い 学び合う 体育学習 ～言語活動の充実を通して～」をテーマに、授業研究や講習会、体力向上の取組の共有化を通して研修を深める。

2 活動の様子

(1) 研修推進部

① 授業研究の実施

ア 期 日 11月12日(水) イ 会 場 小木小学校
ウ 授業者 教諭 安倍 友司
エ 指導者 小木小学校 教頭 本多 剛 様
オ 単 元 第6学年「ソフトバレーボール」
カ 協議内容



○バレーボールを四等分にし、コートでのポジショニングを視点にしたことについて

ほとんど経験のない子どもたちにとって、ポジションの視点があることで、どこに立ったら攻撃や守備ができるかをチームで作戦を立てることができていた。本時では、四等分のラインに関係なく立っている姿も見られた。指導者からは、学習が進むにつれて、チームの実態に応じてポジションと役割を変化させ、ゲームをバージョンアップさせていくことができるという指導があった。

○本時のねらいについて

本時のねらい「より早く相手のコートへ攻撃できる作戦を考えよう」を、教師から投げかけていたが、子どもたちからの必要感があまり感じられなかった。教師の意図がより子どもたちに伝わるようにする場や、より早くすることが得点につながる場が実感できるような場の工夫が必要であった。

○兄弟チームとの練習時間の設定や作戦タイムについて

兄弟チームとの練習では、「弱点を見つけて教えてあげよう」と教師が投げかけていたが、自チーム立てた作戦を試すことに精一杯だったところが多かった。兄弟チームとの教え合いをより有効にするために、見る視点を決める、ペアで見させるなど、評価のポイントを決めて行うとよいのではないかという意見があった。また、前半終了後の作戦タイムでは、前半のゲームの状況から、自チームの作戦を立てて修正を図るチームが多く見られた。

(2) 体力向上部

① 体育指導者実技講習会の実施

ア 期 日 6月18日(水)
イ 会 場 佐渡スポーツハウス
ウ 指導者 佐渡市水泳連盟会長 濱田 毅 様
エ 講習内容

- ・ 「指導の基本」として、①頭の位置に注目すること、②泳法ごとのポイントをおさえてほめることで、子どもは伸びることをご指導いただいた。その後、実技を通して、それぞれの泳法のポイントについて学んだ。



② 体力向上のまとめ

ア 佐渡市の小学生の体力 イ 各校の体力向上の取組紹介

(3) 広報部

① 「体育部だより」の発行

3 成果と課題

今年度は、①体力の向上と言語活動の充実をバランスよく図る、②教科の目標を実現するための言語活動を取り入れる、の2点を確認して研修に取り組んだ。授業研究では、ゲーム領域での言語活動の充実を図るための手立てがなされ、研修を深めることができた。来年度も、体育科での質の高い言語活動の充実を図るためにはどうしたらよいかについて、さらに研修を深めていきたい。